

# 出向く宮農レポート

東郷地区 いちご栽培の難しさについて



東郷地域担当  
南部宮農センター東郷事務所  
加古 創太

東郷町でイチゴの栽培をしている近藤崇之さんの圃場に生育確認と病害虫の情報などを確認するためハウスへ出向きました。

近藤さんは、かおり野・章姫・よつぼしなど計7種類の品種を栽培しています。イチゴはご自身の直売所やいちご狩り園をはじめJAの直売所やイトーヨーカ堂にも出荷を行っています。

今年は、例年苦勞しているダニが少なく消毒する回数が少なく済んでいるほか台風が来なかったため生育は順調です。

近藤さんの栽培方針は株をとにかく強くすること。病気にかかりにくくすることや、虫を見つけたらすぐに防除することを心がけています。

また苗から定植、収穫までの間になるべく株や葉を大きくしてあげることで収量アップにつなげています。



イチゴ狩り園では来園者が品種の食べ比べができるように7品種栽培しており、栽培場所も食べ比べ移動が行えるよう工夫をしています。

また、見た目が良くおいしいイチゴを理想に栽培しており、毎日圃場へ出向き生育の確認をしています。

品種はよつぼし

12月にかけて徐々に赤くなり食べごろになります。



JAあいち尾東いちご部会に所属する近藤さんは毎年、JAの直売所やいちご部会でを行ういちごフェアに協力していただいています。